

流行性角結膜炎

👂 病気の説明 (どんな病気?)

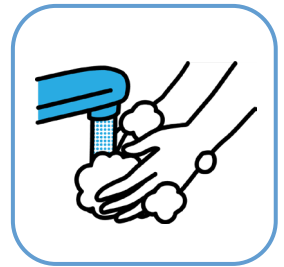
アデノウイルスによる感染症で、俗に「はやり目」と呼ばれています。夏に多く発生し、1~5歳を中心とした小児に多いですが、成人も含め幅広い年代で発生します。結膜の充血(白目が赤くなる)、涙が出る、眼やにが主な症状です。角膜に炎症がおよぶと、異物感や眼の痛みを訴えます。通常は2~3週間で軽快しますが、感染力が大変強く、家庭内感染を起こすことが多いです。

👂 予防 (感染はどう防ぐ?)

ウイルスが付着した手で目に触れる、ウイルスで汚染されたタオルなどの共用で感染する接触感染です。

潜伏期間は1~2週間です。

家庭内感染を防ぐため、目に触れたら速やかに石けんと流水で手を洗いましょう。タオル、枕など、目やにや涙で汚染する可能性がある物の共用は避けましょう。アルコールは効きにくいので、日常的に触れるおもちゃなどの環境消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを用います。感染者の入浴は、家庭内で最後にするか、シャワーのみにします。



👂 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。眼症状が強い場合には、眼科的治療が必要になることもあります。

👂 登園・登校の基準

眼の症状が軽減してからも感染力の残る場合があり、医師において感染のおそれがないと認められるまで出席停止とされています。

治った後も1カ月程度は便からウイルスが排出されるため、登園・登校を再開しても、引き続き手洗いを心がけましょう。

👂 詳しく知りたい方は [流行性角結膜炎とは \(niid.go.jp\)](https://niid.go.jp)

👂 横浜市の流行状況 [横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

